令和７年９月２２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－２

令和６年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【土岐地区
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	９事業
事業費総額 （決算時）	１，６４９，７００円
交付金決定額 （うち加算額）	１，６２７，０００円
交付金決算額	１，６２７，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書※各事業の実績書の前に当初の計画書を添付　Ｐ１　～Ｐ３７
・事後評価調書　Ｐ３８～Ｐ４６
・参考写真
（令和６年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ４７～Ｐ５５

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和　　７年　　３月　　３１日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市上平町１丁目１番地
名称：土岐地区まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　土屋　泰次郎

夢づくり地域交付金実績報告書

令和６年５月１日付瑞浪市指令第４４号の２で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
広報発行事業
青色回転灯防犯パトロール事業
地域防災力強化事業
草刈り機教室事業
コミュニティ・スクール協力事業
トレジャーウォーキング開催事業
花いっぱい事業
地域計画実行事業
文化・歴史再発見事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

広報発行事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

まちづくり活動の周知と、郷土愛の高まりにつながる多様な地域の情報を発信するため、情報発信部会委員が積極的に意見交換をし、広報「ときめき」を作成から発行までを行う。土岐地区全世帯に配布するとともに、公共施設にも設置する。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

Ａ３二つ折り両面印刷（４ページ）、カラー刷り、約３，０００部を年5回発行。

４　事業に要する経費（総事業費）

430,000 円

５　交付金申請額

400,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

広報発行事業

２　活動報告（活動内容等）

土岐地区まちづくり推進協議会の活動の周知と支援・協力・郷土愛理の醸成などを目的として、広報「ときめき」を年５回発行し、土岐地区全世帯及び区内の関係機関等へ配付した。広報の記事は毎号1～2回編集会議を開き、部会長・副部会長が中心となり充実を図った。試行錯誤しながら、よりよい紙面作成となった。

○発行月　６月、８月、１０月、１月、４月

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

５回の発行で、各２，６００部を印刷して地区世帯への全戸配布をすることができた。多様な記事を掲載することにより、まちづくり組織の活動への理解度や土岐地区への郷土愛の育成に繋げることができた。また、まちづくり事業活動への参加協力や参加者募集記事を掲載時には大きな反響があり、新規の協力者が増えるなどの反応もあった。

４　事業に要した経費（総事業費）

389,148 円

５　夢づくり地域交付金充当額

389,148 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	編集会議 広報第７２号発行・配布	消耗品費 通信費等 印刷費	2,552 750 82,940
６月		食料費 消耗品費 通信費等	1,490 9,090 1,890
７月	編集会議 広報第７３号発行・配布	通信費等 印刷費	1,050 71,500
８月			
９月		通信費等 印刷費	630 71,500
１０月	編集会議 広報第７４号発行・配布		
１１月		通信費等	52
１２月	編集会議 広報第７５号発行・配布	印刷費	71,500
１月			
２月		通信費等	2,704
３月	編集会議 広報第７６号発行・配布	印刷費	71,500
合計			389,148

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	389,148	389,148	
自主財源	0	0	
その他（　　）			
合　　計	389,148	389,148	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
広報発行事業	編集会議等	食料費	1,490	1,490	
		消耗品費	11,642	11,642	
		通信費等	4,492	4,492	
	小計		17,624	17,624	
	広報印刷・発行（5回）	通信費等	2,584	2,584	
		印刷費	368,940	368,940	
	小計		371,524	371,524	
合　　計			389,148	389,148	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

青色回転灯防犯パトロール事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

児童・生徒の見守りや、犯罪・事故の未然防止と抑止機能の向上、そして、地域の皆さんの安全に対する関心を高めるため、青色回転灯装着車による防犯パトロールを毎週月曜日（小学校休校日を除く）に実施。 今後も現状の自動車による防犯活動が継続的な活動として可能なのかを検討し、「土岐地区の防犯活動」として令和の時代や土岐地区の現状を考えた活動の見直しを引き続き検討していく。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

青パト実施延べ日数（回数）について、年間で昼間３０日以上を目標とし、実施協力者の年間延べ人数を５０人以上とする。

４　事業に要する経費（総事業費）

50,000 円

５　交付金申請額

20,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

青色回転灯防犯パトロール事業

２　活動報告（活動内容等）

土岐小学校の低学年児童見守りを目的として毎週月曜日の下校時に約１時間実施した。また協力者の減少を食い止めるため、４月に小学校でおこなわれた学級懇談会に出向いて活動のPRを実施した。 また、資格講習会が危機管理課主催で９月に開催され、土岐地区からの参加者もあった。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

毎週月曜日の活動で、１４時３０分からの約１時間、合計２８回の青パト活動を実施した。参加協力者は１２名。小学校の学級懇談会や広報でPRした結果、保護者の方で２名と広報による呼びかけで２名、計４名の新規協力者の獲得に繋がった。講習会については土岐地区から７名の参加があった。

４　事業に要した経費（総事業費）

30,800 円

５　夢づくり地域交付金充当額

20,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	青色回転灯装着車パトロール活動		
５月	青色回転灯装着車パトロール活動	印刷費	27,500
６月	青色回転灯装着車パトロール活動		
７月	青色回転灯装着車パトロール活動		
８月			
９月	青色回転灯装着車パトロール活動		
１０月	青色回転灯装着車パトロール活動		
１１月	青色回転灯装着車パトロール活動		
１２月	青色回転灯装着車パトロール活動		
１月	青色回転灯装着車パトロール活動		
２月	青色回転灯装着車パトロール活動		
３月	青色回転灯装着車パトロール活動	通信費等	3,300
合計			30,800

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	20,000	20,000	
自主財源	30000	10,800	
その他（　　）			
合　　計	50,000	30,800	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
青色回転灯 防犯 パトロール	青パト協力 依頼	印刷費 食料費 通信費等	40,000 2000 2,000	27,500	
	会議等の案内 発送等	通信費等 食料費	4,000 2,000	3,300	
合　　計			50,000	30,800	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

地域防災力強化事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

地域住民の家庭内での防災意識向上を目的として、みずなみ防災会・消防本部協力のもと、総合消防防災センターにて土岐地区住民全体を対象に実施予定。本年度は各ブースを設置した参加型の防災事業として実施予定。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

７０組ほどの参加を目安とする。地震体験車やけむり体験・消火器体験等をブース形式で設置し体験してもらう。また、協力依頼ができれば、市内在住の阪神淡路大震災体験者の講話等もおこなう。この事業を継続していくことで地域の家族内での防災意識が高まり、そのことが地域の防災力向上に繋がるものとなる。

４　事業に要する経費（総事業費）

200,000 円

５　交付金申請額

150,000 円

（内、交付金加算額　　０円）

６　合同で実施する地区

なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

地域防災力強化事業

２　活動報告（活動内容等）

１１月２３日に瑞浪市総合消防防災センターにて消防本部・消防団・みずなみ防災会等の協力のもと「第５回学ぼうさい」を実施した。今年度は参加者を特定せず、体験型ブースを９箇所用意した形式で実施した。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

２７組６８名の参加があった。「よかった、ためになった」という評価を多くいただき、１１９番の電話体験などは小学校の防災教育でも実施してほしいという意見もあった。

４　事業に要した経費（総事業費）

203,106 円

５　夢づくり地域交付金充当額

203,106 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月		通信費等	1,890
７月			
８月	検討会議	通信費等 食料費	1,500 1,490
９月			
１０月		消耗品費 通信費等 食料費 食料費 印刷費	5,565 2,550 1,490 4,836 39,600
１１月	防災事業「学ぼうさい」実施 検討会議	消耗品費 消耗品費 通信費等 食料費 手数料等	119,004 11,863 550 6,393 3,300
１２月	次年度に向けた会議	食料費 通信費等	950 2,125
１月			
２月			
３月			
合計			203,106

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	203,106	203,106	
自主財源			
その他（　　）			
合　　計	203,106	203,106	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
防災力 強化事業	学ぼうさい 開催費用等	消耗品費	17,428	17,428	
		消耗品費	119,004	119,004	来場粗品代
		通信費等	3,100	3,100	
		食料費	11,229	11,229	
		印刷費	39,600	39,600	
		手数料等	3,300	3,300	
	会議等連絡 費用	通信費等	5,515	5,515	
		食料費	3,930	3,930	
合　　計			203,106	203,106	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

草刈り機教室事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

昨年度よりスタートさせた女性を主なターゲットとした電動草刈り機の使用方法を学ぶ「電動草刈り機教室」を実施。学校事業や地域の奉仕活動で女性等の活躍を促進させ、住環境の向上のほか環境に配慮したＳＤＧｓにも繋がる事業とする。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

９月の開催を予定し、３０名程度の参加者を目処。昨年度受講した方々にも協力いただける方法を検討し、繋がりのあるまちづくり活動を目指す。

４　事業に要する経費（総事業費）

350,000 円

５　交付金申請額

350,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

草刈り機教室事業

２　活動報告（活動内容等）

９月２１日に学園台未分譲地にて株式会社マキタ協力のもと「電動草刈り女子育成教室」を実施した。昨年度に続き２回目の開催となり、土岐地区在住・在勤の女性を対象に実施した。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

３０代～７０代の２３名参加（定員２４名1名キャンセル）があった。当日はまちづくり委員以外にも前年度に受講した１期生の方にも指導・運営側として参加していただいた。草刈り教室を受講した同姓からの指導ができたので、受講生からも好評だった。既に来年度は是非受講したいというお声も頂いている。次年度以降も受講した方々の繋がりができるような事業運営を検討し実行していく。受講生への草刈り機貸出は昨年度の約２倍の４８件あった。５月には第一期生を対象とした復習教室を開催した。教室開催から半年以上が経過していた為、「忘れてしまった事が思い出せた・ナイロンコードタイプの使用感がわかった」など好評だった。

４　事業に要した経費（総事業費）

447,460 円

５　夢づくり地域交付金充当額

435,560 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	草刈り機貸出		
５月	草刈り機貸出 部会開催 復習教室開催	消耗品費 保険料 手数料等 食料費	22,663 18,870 3,960 5,655
６月	草刈り機貸出	消耗品費	21,450
７月	草刈り機貸出 部会開催	食料費 消耗品費 光熱水費 通信費等 印刷費 消耗品費	4,483 25,006 12,457 10,710 42,900 45,320
８月	草刈り機貸出 会場準備	通信費等 使用料等 手数料等 消耗品費	2,520 16,000 330 44,558
９月	草刈り機貸出 部会開催 草刈り機教室開催	光熱水費 消耗品費 報償費 備品費 保険料 食料費	13,027 57,857 15,300 49,500 33,300 1,490
１０月	草刈り機貸出 部会開催	通信費等	104
１１月	草刈り機貸出		
１２月	草刈り機貸出		
１月			
２月	部会開催		
３月			
合計			447,460

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	435,560	435,560	
自主財源	11,900	11,900	
その他（　　）			
合　　計	447,460	447,460	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
草刈り機 教室事業	復習教室	消耗品費	22,663	22,663	
	開催費用等	保険料	18,870	18,870	
	草刈り機	手数料等	3,960	3,960	
	貸出費用等	食料費	5,655	5,655	
		消耗品費	21,450	21,450	
	会議費用等	通信費等	2,624	2,624	
		食料費	1,490	1,490	
	草刈り教室	消耗品費	127,421	127,421	
	開催費用	消耗品費	45,320	45,320	Tシャツ代
		食料費	4,483	4,483	
		光熱水費	25,484	25,484	
		通信費等	10,710	10,710	
		印刷費	42,900	42,900	
		使用料等	16,000	16,000	
		手数料等	330	330	
		報償費	15,300	15,300	
		備品費	49,500	49,500	
		保険料	33,300	33,300	
合　　計			447,460	447,460	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

コミュニティ・スクール協力事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

昨年度、瑞浪北中学校もコミュニティ・スクールがスタートし、土岐地区内の小中両校での活動となった。今後は小中どちらの活動にも積極的に協力し、世代間で郷土愛を育む活動をおこなう。ＰＴＡ活動についても積極的に協力予定。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

運動会・体育祭前の運動場整備作業等に積極的に参加。他にも学校側からの協力依頼があれば、部会として全面的に協力していく。

４　事業に要する経費（総事業費）

100,000 円

５　交付金申請額

100,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

コミュニティ・スクール協力事業

２　活動報告（活動内容等）

瑞浪北中学校と土岐小学校のコミュニティ・スクール活動に協力をした。各運営協議会本部にまちづくり推進協議会から代表者が出席し、運営段階から参加した。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

北中学校では、総合的な学習の時間を利用して生徒自身が各地域のこれからについて考え、１月に開催された地域の方を交えた発表会に、まちづくり推進協議会からも参加した。土岐小学校では、高学年が１～２月にミシンを使用した授業、２月に糸鋸を使用した工作授業をおこない，まちづくり推進協議会の役員をはじめ、地域の方々が参加した。その様子をまちづくり広報で紹介し、活動の周知・啓発につとめた。

４　事業に要した経費（総事業費）

０円

５　夢づくり地域交付金充当額

０円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月	中学校コミュニティ・スクール運営会議 小学校コミュニティ・スクール運営会議		
６月	小学校コミュニティ・スクール拡大会議 中学校活動紹介（広報ときめき）		
７月			
８月			
９月			
１０月			
１１月	小学校コミュニティ・スクール運営会議		
１２月			
１月	小学校コミュニティ・スクール運営会議		
２月	中学校コミュニティ・スクール運営会議 小学校コミュニティ・スクール拡大会議		
３月	小学校活動紹介（広報ときめき）		
合計			0

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	0	0	
自主財源			
その他（　　）			
合　　計	0	0	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
コミュニティ・スクール協力事業					
合　　計			0	0	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

トレジャーウォーキング開催事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

今年度より、土岐地区内をフィールドとしたウォーキング事業を実施する。ただ歩くだけのイベントではなく、以前まちづくりで制作した「ふるさとカルタ」の絵札として使用した史跡等を楽しみながら散策できる要素を加えて実施予定。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

１月ごろの開催を目標とし、７０組程度の参加者を目処。カルタの絵札場所をチェックポイントとして設定し、各ポイントの合計を競うなどのゲーム要素を部会で熟議していく。毎年コースを変更したり、ゲーム要素を充実させる等、土岐地区の新しい事業として継続できるものを目指す。

４　事業に要する経費（総事業費）

150,000 円

５　交付金申請額

80,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

トレジャーウォーキング開催事業

２　活動報告（活動内容等）

１月２６日にきなぁた瑞浪を起点として「第１回土岐地区トレジャーウォーキング」を実施した。以前制作した「ふるさとカルタ」を活用し土岐地区内にある史跡等を巡ってもらい、各史跡に割り振られたポイントを集め順位を競った。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

１２チーム５２名の参加があった。各チームでポイント獲得方法を考え、子どもだけでなく保護者の大人も楽しんで参加できた。参加者からは「こんな場所知らなかった！」「家族とのふれあいの場を提供してもらいありがたかった」などの声をいただき、土岐地区を知ってもらうだけのイベントにならず、家族の絆を深めてもらえる場となった。初めての事業だったが来年も参加したいという声を多くもらった。

４　事業に要した経費（総事業費）

206,081 円

５　夢づくり地域交付金充当額

206,081 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月			
７月			
８月			
９月			
１０月		通信費等 消耗品費	2,550 5,596
１１月	部会開催	通信費等 食料費	3,300 950
１２月		通信費等 印刷費	2,550 5,295
１月	部会開催 トレジャーウォーキング開催	食料費 消耗品費 消耗品費 使用料等	33,990 3,007 23,000 500
２月	部会開催	手数料等 消耗品費 光熱水費 備品費 食料費	11,880 220 2,106 110,187 950
３月			
合計			206,081

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	206,081	206,081	
自主財源			
その他（　　）			
合　　計	206,081	206,081	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
トレジャー ウォーキング 開催事業	部会開催等	通信費等	5,100	5,100	
		食料費	1,900	1,900	
	トレジャー ウォーキング 開催費用	消耗品費	8,823	8,823	
		消耗品費	23,000	23,000	参加者景品
		通信費等	3,300	3,300	
		印刷費	5,295	5,295	
		食料費	33,990	33,990	
		使用料等	500	500	
		手数料等	11,880	11,880	
		光熱水費	2,106	2,106	
		備品費	110,187	110,187	
合　　計			206,081	206,081	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

花いっぱい事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

地域の団体に花苗・肥料を配布して、地域の方の目の届くところで育てることで、潤いのある地域づくり、花がいっぱいある美しいまちづくりを図る。配布は５月と１１月を計画。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

各配布で２０団体以上に花苗を配布し、維持・管理していただく。

４　事業に要する経費（総事業費）

450,000 円

５　交付金申請額

400,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

なし

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

花いっぱい事業

２　活動報告（活動内容等）

まちかどの潤いづくり、美しい地域づくりを目的として、５月１６日及び１１月７日に地域施設・事業所等の花壇づくり団体に花苗配布を実施した。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

5月に２１団体に約２４００個、１１月に２４団体に約２３００個の花苗を配付し、水やりなどきめ細かく世話をしていただき、花であふれる潤いのある街となった。昨年度同様、花苗をよりよく育成できる手助けとなるよう肥料土を各団体へ配付した。また、秋の配布は２団体の新規応募があった。

４　事業に要した経費（総事業費）

370,094 円

５　夢づくり地域交付金充当額

370,094 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月		通信費等	8,400
５月	初夏花苗配付事業	消耗品費	184,030
６月			
７月			
８月			
９月			
１０月		通信費等	442
１１月	初夏花苗配付事業	消耗品費 通信費等	175,022 2,200
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			370,094

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	370,094	370,094	
自主財源			
その他（　　）			
合　　計	370,094	370,094	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
花いっぱい 事業	花苗等 購入費用等	消耗品費	359,052	359,052	
	案内等 費用	通信費等	11,042	11,042	
合　　計			370,094	370,094	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

地域計画実行事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

令和５年度に策定した地域計画を実行していくための検討会をおこなう。５年後、１０年後を見据えた活動をおこない、土岐地区の永続的な発展を目指す。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

土岐地区が掲げた６個の目標をどう具体化させるか熟議し、５年後、１０年後を見据えた課題解消方法を検討していく。検討した結果、行動にうつせるものは、今年度中に積極的に行動をおこしていく。

４　事業に要する経費（総事業費）

100,000 円

５　交付金申請額

100,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

地域計画実行事業

２　活動報告（活動内容等）

令和５年度に作成した地域計画の実現のため、議論を重ね事業を実施する予定だったが、活用予定の施設の老朽化に伴い安全性が確保できないことがわかったため、現状のまちづくり組織の課題を洗い出し、組織の見直しについての検討を始めた。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

令和８年度に新たにスタートが切れるよう組織の再編に向けて検討会議を４回開催した。

４　事業に要した経費（総事業費）

０円

５　夢づくり地域交付金充当額

０円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月	検討会議		
７月			
８月			
９月			
１０月			
１１月			
１２月			
１月	検討会議		
２月	検討会議		
３月	検討会議		
合計			0

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	0	0	
自主財源			
その他（　　）			
合　　計	0	0	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
地域計画 実行事業	検討会議				
合　　計			0	0	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

文化・歴史再発見事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

今年度は土岐地区でのＪＲ東海さわやかウォーキングの開催を予定している。前回も好評だったウォーキング参加者へのおもてなし等を実施。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

ウォーキング参加者の多くが県外からの参加者ということもあり、土岐地区の史跡紹介パンフレットの配布や紹介パネルの設置等を検討する。また、参加者に飲料の無料提供等も実施する。１１月開催予定。

４　事業に要する経費（総事業費）

47,000 円

５　交付金申請額

27,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

文化・歴史再発見事業

２　活動報告（活動内容等）

１１月１７日に実施されたJR東海主催の「JR東海さわやかウォーキング」に協力した。土岐地区桜堂区内にある桜堂薬師にてテントを張り、そこで土岐地区の史跡や歴史紹介を展示した。また、参加加者の方には土岐地区史跡案内「郷土再発見」と観光協会よりいただいた瑞浪市の紹介パンフレット等を配布した。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

JR東海からは約９００名の参加者があったと報告をうけた。用意した配布物は約１００セット配布できた。鶴ヶ城跡のことやコースにない他の土岐地区の史跡のことなどの質問があった。

４　事業に要した経費（総事業費）

3,011 円

５　夢づくり地域交付金充当額

3,011 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月			
７月			
８月			
９月			
１０月			
１１月	JR東海さわやかウォーキング開催協力	食料費	3,011
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			3,011

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	3,011	3,011	
自主財源			
その他（　　）			
合　　計	3,011	3,011	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
歴史文化ふれあいづくり事業	JR東海さわやかウォーキング	食料費	3,011	3,011	
合　　計			3,011	3,011	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　土岐 地区

事業番号　1

事業名　広報発行事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	まちづくり組織の活動周知と支援・協力・郷土愛の醸成を図るため広報紙を年5回発行する。	4
		実績値	2，600部×5回　計13，000部を発行した。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	郷土愛につながる多様な情報発信	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				24
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		広報発行に際し取りまとめる委員が必要であり、まちづくり推進協議会の活動・地域行事への取材や紙面作成等で、特定の委員の負担が増加している傾向にある。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　土岐 地区

事業番号　2

事業名　青色回転灯防犯パトロール事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	土岐小学校の低学年児童の下校時の見守りや犯罪・事故の未然防止と抑止、地域の安全に対する関心を高めるため青色回転灯防犯パトロール車によるパトロールを30回以上、実施協力者の年間延べ人数を50人以上とする。	4
		実績値	月曜日の14時30分から約1時間で合計28回実施、実施協力者は延べ56名。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	犯罪・事故の未然防止、地域の安全に対する意識の向上	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				23
今後の事業展開の方向性		1 (拡充)　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		土岐小学校の授業参観後の保護者懇談会にて活動のPRをしたところ、新たな協力者の申し込みがあった。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　土岐 地区

事業番号　3

事業名　地域防災力強化事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	体験型ブース形式で70組の参加を目指す。	2
		実績値	未就学児から高齢者まで27組68名の参加があった。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	地域住民の家庭内での防災意識向上	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		どのような防災知識を区民の方々が求めているのか検討が必要と感じた。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　土岐 地区

事業番号　4

事業名　草刈り機教室事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	電動草刈り機を活用して、学校行事や地域の奉仕活動で女性の活躍を促進させる。草刈り機教室は30名程度の参加者を目指す。	3
		実績値	9月に開催した草刈り女子育成教室は定員24名とし、30代～70代の23名の参加があり、令和6年度の草刈り機の貸出は48件あった。また、6月に開催された土岐川清掃にも教室受講生10名の参加があり、草刈り女子育成教室の事前会場準備や教室当日にも、まちづくり委員ではない前年度の受講生の協力があった。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	地域奉仕活動で女性の活躍を促進し、受講生の繋がりを深め、組織化を目指す	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				25
今後の事業展開の方向性		1 (拡充)　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		5月に復習教室を実施したが、参加者からは実際に草刈りをして出た疑問点などが解消できたり、使用方法の再確認もできたという好評な意見が多かったため今後も継続していきたい。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　土岐 地区

事業番号　5

事業名　コミュニティ・スクール協力 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		2
2	成果目標の達成度	成果目標	小学校・中学校のコミュニティ・スクール活動への協力	3
		実績値	運営会議への参加や授業への協力等を実施した	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		3
4	地域の課題解決	課題の内容	世代間での郷土愛を育む	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		—
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				14
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・事業費が伴う活動は無かったため、今後は自主財源事業として協力していく。 ・校長先生や教頭先生によって、コミュニティ・スクール活動に対する温度差を感じる		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　土岐 地区

事業番号　6

事業名　トレジャーウォーキング開催 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	過去にまちづくり推進協議会で制作した「ふるさとカルタ」の絵札として使用した史跡等を楽しみながら巡ってもらう事、でより深く土岐地区を知ってもらう。70組程度の参加者を目指す。	5
		実績値	当初は子どもだけの参加を見込んでいたが、現地調査をした際に史跡の場所によっては歩道が無い場所もあったことから、保護者が1名以上含まれることを参加要件に追加し、1チーム5人以内で10組の募集としたところ、小学生とその保護者12チーム52名の参加があった。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	ふるさとカルタの活用と土岐地区史跡等の認知度アップ	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				25
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・保護者を加えたことで、親子でのふれあいの場にもつながり、安全性をより確保できた。 ・スタート位置・ゴール位置を変えるなどマンネリ化しないように継続していきたい。 ・土岐地区の史跡を多くの方に知ってもらうため、対象者を土岐地区内だけでなく、次年度は市内全域の小学生に広げていきたい。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　土岐 地区

事業番号　7

事業名　花いっぱい事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	まちかどの潤いづくり、美しい地域づくりを目的に20団体以上への配布	4
		実績値	5月に21団体2400個、11月に24団体2300個を配布した	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		2
4	地域の課題解決	課題の内容	地域の方の目の届くところで育てることによる潤いのある地域づくり	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				21
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・初夏については園芸業者とも相談し、暑さに強い花苗への変更などを検討していきたい。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　土岐 地区

事業番号　8

事業名　地域計画実行事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		2
2	成果目標の達成度	成果目標	地域計画を実行していくための検討会の実施	3
		実績値	地域計画を実行していくために、まずはまちづくり推進協議会のあり方について検討を実施し、令和7年度から組織の再編等にかかる検討会を始めることとした。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		1
4	地域の課題解決	課題の内容	5年後、10年後を見据えた永続的な土岐地区の発展	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		—
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				13
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・地域計画実行のため、まずは組織再編等について見直しを始めた。 ・事業費が伴う活動は無かったため、今後は自主財源事業として協力していく。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　土岐 地区

事業番号　9

事業名　文化・歴史再発見事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	JR東海さわやかウォーキング開催時に、参加者へ土岐地区のアピール	3
		実績値	桜堂薬師にて土岐光衡のブロンズ像等の展示及び史跡パンフレットを配布した。JR東海からは約900人の参加があったと報告。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		3
4	地域の課題解決	課題の内容	土岐地区の史跡紹介を行い、土岐地区の魅力を発信する	2
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		3
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				18
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・JR東海さわやかウォーキングの参加者がほぼ県外、市外の方なため、区や区民に対して効果的な活動となっているか検討する必要がある。		

青色回転灯防犯パトロール



地域防災力強化事業（学ぼうさい）

令和６年11月23日実施













地域防災力強化事業（学ぼうさい）

令和６年11月23日実施













草刈り教室事業（第一期生補習講座）

5月18日実施













草刈り教室事業

9月21日実施











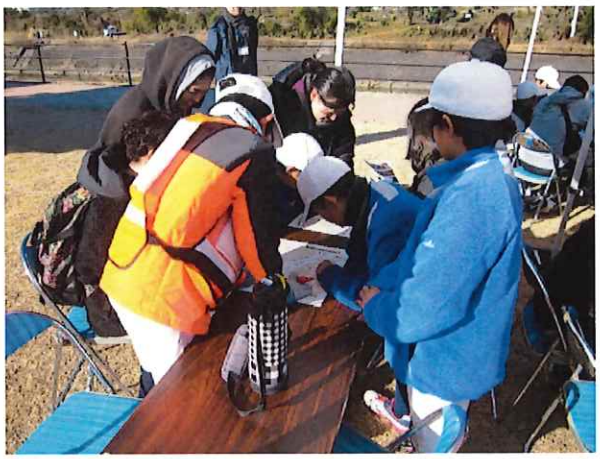






トレジャーウォーキング

1月26日実施

















花いっぱい環境美化事業（初夏）

5月16日実施













花いっぱい環境美化事業（秋）

令和６年 11 月７日実施













歴史文化ふれあい事業（JR さわやかウォーキング）

11 月 17 日実施











